

東洋学園大学における学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）

東洋学園大学は、「建学の精神」「教育の目的」を実現するために、恒常的な教育活動の改善・充実を図ることを目的として、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施に関する方針」（カリキュラム・ポリシー）および「入学者受入れの方針」（アドミッション・ポリシー）にもとづく取り組み状況について、機関（大学）レベル、学部・学科・研究科（教育課程）レベル、授業科目の各レベル別に指標を定め把握・測定し、入学前・入学時（アドミッション・ポリシーを満たす人材であるかどうか）、在学中（カリキュラム・ポリシーに則って学修が進められているかどうか、およびアドミッション・ポリシーが妥当であるか）、卒業時・卒業後（ディプロマ・ポリシーを満たす人材であるかどうか、およびカリキュラム・ポリシーが妥当であるか）において、達成状況の検証を行うものとする。

1. 機関（全学）レベルのアセスメント・ポリシー

在学中の学修状況および卒業時における各学部の掲げるディプロマ・ポリシーにもとづく学生の学修成果の達成度について、学部・学科・研究科（教育課程）レベル、授業科目レベルに関する評価結果を集約したうえ、機関レベルでの評価を行う。

なお、学部・学科の授業科目には、教養教育センター、英語教育開発センター所管の科目も含まれる。

また、学生の進路状況（就業率・進学率）、卒業時アンケート等から、全学的な学修成果の達成状況について測定・評価を行う。

検証結果は、大学の現状把握、全学的な教育改革・改善等に活用するものとする。

2. 学部・学科・研究科（教育課程）レベルのアセスメント・ポリシー

学部・学科における学生の単位修得状況、GPA の状況、進学率や退学率、就職率・進学率、免許・資格取得状況等の結果から、学部・学科レベルにおける学位プログラムとしての学修成果の達成状況について検証を行う。なお、学部・学科レベルにおける学位プログラムには、教養教育センター、英語教育開発センター所管の科目も含まれる。

研究科においては、単位修得状況、GPA の状況、修士論文発表会の内容、学位授与率、修了時の進路調査等の結果から、学修成果の達成状況について検証を行う。

検証結果は、各学部・学科・研究科のカリキュラムの見直しや学修支援活動に活用するものとする。

①現代経営学部現代経営学科

入学前・入学時においては、各種入学試験結果、英語診断力テスト（VELC Test）および問

題解決力テスト (GPS-Academic) の結果にもとづき、アドミッション・ポリシーの達成度を測る。

在学中は、GPA 分布、卒業所要科目の学修到達状況および進級率、英語力診断テスト (VELC Test)、問題解決力テスト (GPS-Academic) などの結果にもとづき、カリキュラム・ポリシーの達成度を測る。

卒業時には、GPA 分布、就職状況・就職率および卒業論文・ゼミ論文にもとづき、ディプロマ・ポリシーで求める知識・技能・能力の到達状況について評価を行う。

②人間科学部人間科学科

入学前・入学時には、入学試験結果、英語力診断テスト (VELC Test) の結果、問題解決力テスト (GPS-Academic) の結果にもとづいて、アドミッション・ポリシーの充足度の評価を行う。

在学中においては、GPA 分布、単位修得状況、英語力診断テスト (VELC Test)、問題解決力テスト (GPS-Academic)、授業評価アンケートなどの結果にもとづき、カリキュラム・ポリシーの達成度の測定を行う。

卒業時には、GPA 分布、就職状況・就職率、免許や資格の取得状況にもとづき、ディプロマ・ポリシーで求める知識・技能・能力の到達状況について評価を行う。

③グローバル・コミュニケーション学部

入学前・入学時には、入学試験結果および英語力診断テスト (VELC Test) ならびに問題解決力テスト (GPS-Academic) の結果にもとづいてアドミッション・ポリシーの達成度の評価を行う。

在学中においては、在学生の GPA の分布、単位修得状況、英語力診断テスト (VELC Test)、問題解決力テスト (GPS-Academic)、語学試験等の外部試験などの結果にもとづいてカリキュラム・ポリシーの達成度を評価する。

卒業時には、最終学年の学生の GPA の分布、各種養成課程修了状況ならびに就職状況・就職率にもとづいてディプロマ・ポリシーで示された諸能力の達成度について評価を行う。

④現代経営研究科

入学前・入学時には、面接試験、筆記試験、研究計画書にもとづき、また留学生にあっては日本語能力試験証明書にもとづきアドミッション・ポリシーの達成度を測る。

在学中は、修得単位情報、GPA、修士論文中間報告会の内容、休学率・退学率、修士論文発表会の内容にもとづき、カリキュラム・ポリシーの達成度を測る。

修了時には、学位授与率、修士論文、修了時の進路調査、修了時アンケートにもとづき、ディプロマ・ポリシーで求める知識・技能・能力の到達状況について評価を行

う。

3. 授業科目レベルのアセスメント・ポリシー

授業科目レベルにおいては、シラバスに明示された各科目の学修目標に対する評価方法や評価基準にもとづき、授業科目ごとに到達目標へ掲げる知識、技能、能力が身についているか、達成状況について検証を行う。また、達成状況の検証結果とともに、達成目標とディプロマ・ポリシーの整合性、授業内容・方法、成績評価の方法などについても評価を行い、各科目の授業方法の改善や適切な成績評価方法等の改善に活用するものとする。

2021 年 3 月 19 日

2021 年 9 月 24 日 改定

2023 年 11 月 16 日 改定